

まちのたから

発見



できることを できるだけ

こいすみ いちろう みさこ
小泉 一郎さん 美彩子さん (内池東)



▲「子ども達は宝です」と小泉さん夫妻

●里親を支える地域

小泉さんご夫妻はファミリーホーム(里親)として現在12人の大家族で生活されています。小泉さんは、約14年前、障がいを持っていらっしゃる方や里子として育てておられるお子さんと地域と一緒に暮らしたいと日野町の古民家に引っ越してこられました。

「地域の方はあたたかく迎えてくれました。たくさん子ども達を受け入れられるのもこの地域だからこそです」と日野の地域の良さについて話してくださいました。地域の納涼祭やグラウンドゴルフ大会などさ

まざまな行事にも家族で参加されています。

●普通の家庭が里親の理想

里親は福祉の知識があるとかお金に余裕のある人だけができるものと誤解されている方が多いですが、理想は普通の家庭です。

小泉さんは「実の子どもの子育てと里子の子育てとの違いなんてないんです。子どもと初めて出会う時が出産した時か数年後か違うだけ。子どもはみんな可愛いです」と話されます。近年は施設も整備されてきましたが、やはり家庭の暮らしが子ども達にとって一番の環境です。

●里親の制度

里親には、保護者が子どもを引き取るようになるまで、また里子が就職して自立するまで育てる「養育里親」、養子縁組を希望して育てる「養子里親」、週末や夏休みなどだけ育てる「施設入所児童ホームステイ事業」などさまざまな制度があります。

小泉さんは「子どもが虐待を受けたというニュースを聞いて胸を痛める方はぜひ里親として一緒に家庭のあたたかさを伝えましょう。私たちの体験や経験が里親に興味を持ってもらえる方の背中を押すきっかけとなれば嬉しい」と伝えてくださいました。



▲里親の家庭同士の交流会も行われています

今、里親が
求められています！



里親になるまでの流れ

- ① 問い合わせ
子どもを、一定期間、別の家庭に迎えて一緒に生活する里親制度。子どもたちの育ちには家庭的な環境が欠かせません。
- ② 制度の案内
里親を希望される方に説明や話を伺います
- ③ 研修
基礎研修(2日間)・認定前研修(4日間)を受講
- ④ 申請書提出
- ⑤ 調査認定
子ども家庭相談センターによる調査の後、社会福祉審議会での審査を経て、知事の認定により、里親登録
- ⑥ 養育開始
滋賀県では、42家庭と10のファミリーホームで里親が子どもたちと一緒に生活しています。子どもたちの未来のため、関心がある方は、ご連絡ください。

里親になるには

次のような要件があります

- 健康であること
- 子どもの養育についての理解や、熱意と愛情を持っていること
- 経済的に困窮していないことなど

◆問い合わせ先

彦根子ども家庭相談センター ☎0749-24-3741
日野町役場 福祉課 子ども子育て支援担当 ☎6573